

第二十一回帝國議會
院 衆議
俘虜刑罰法案外三件委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十八年二月二日午後一時二十五分開議

出席委員左ノ如シ

立川	雲平君	森	肇君	森田	卓爾君
山本	幸彦君	角田	眞平君	元田	肇君
渡邊	修君	遠藤	眞吉君	花井	卓藏君
關	直彦君	辻	寛君	大淵	龍太郎君
小林	仲次君	鳩山	和夫君	磯部	四郎君
神崎	東藏君				

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 波多野敬直君 內務大臣 子爵 芳川 顯正君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官	石渡 敏一君	陸軍次官	石本 新六君
法制局長官	一木喜徳郎君	外務省通商局長	石井菊次郎君
法學博士		司法省參事官	平沼騏一郎君

內務省警保局長 仲小路 廉君
大藏省理財局長 水町袈裟六君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

俘虜處罰ニ關スル法律案

外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造ニ關スル法律案

○委員長代理立川雲平君 ソレデハ委員長ノ鳩山君ガマダ御見エニナリマセヌガ、御
揃ノ様子デスカラ、會ヲ開キマセウ、此衆議院ノ第二十二號、外國ニ於テノ流通スル
硬貨紙幣銀行券及帝國官府發行ノ證券偽造變造及模造ニ關スル法律案、鳩山元
田兩君ノ提出ニ係ルモノ、此案カラ始メマス

○森肇君 此十五號ノ花井君ノ案ノ方ガ先ニ出テ居リマスカラ、此方ヲ先ニ原案トシ
テ、鳩山元田兩君ノ方ハ後トニセラレテハドウデスカ

○委員長代理立川雲平君 ドチラデモ同ジデスカ、唯今申シタヤウニ致シマセウ
○花井卓藏君 チョット委員長ニ參考ノタメニ伺ヒマスガ、原案ハ誰ノヲ基トスルト云フ
事柄ハ、御職權デ御定メニナルコトガ出來ルモノデアリマセウガ、當前カラ云ヘバ、前ニ出
テ居ルモノヲ、先ニ御審議ニナルノガ當然ト考ヘマスガ

○委員長代理立川雲平君 御相談上デ、ドチラデモ宜シウゴザイマス
○花井卓藏君 元田君ニ於テ御異議ガナケレバ、私ノ案ヲ原案トシテ貫ヒタイト思ヒ
マス

○森肇君 私ハヤハリ花井君ノ方ガ、先ニ出テ居リマスカラ、十五號ヲ先ニ花井君ノ案
ヲ原案トシテ、議サレタ方ガ宜イト思ヒマス

○元田肇君 私ハ先ニ出テ居ルカラ、其方ノ案カラ取ルト云フ理由ニハ賛成ハ出來マセ

ヌガ、併ナガラ今茲ニ出テ居ル外國ニ於テノ流通スル硬貨紙幣銀行券云々ト云フニ就
キマシテハ、私共提出シタルデスカレドモ、ヤハリ花井君ノ案ヲ參考トシテ、ソレニ附加ヘテ
出シタル云フヤウナコトニシテアリマス、ソレヲ修正案トシテ出スト云フ評議ガ纏マデ居ラ
ヌカラ、別ニシテ出シタルデスカラ、此案ハ花井君ノ案ヲ原案トセラレテ、私等ノ修正ハ、
御採用ニナリタイノデス、此修正ニ付イテハ、前後ノ別ナク、吾々ノ案ヲ採ラレンコトヲ、今ヨ
リ希望シテ置キマス

○渡邊修君 十五號カラデスカ

○委員長代理立川雲平君 御異議ガアル以上ハ、御諮リシマセウ、花井君ノ案ヲ先
ニ原案トシテ審議スルト云フ、森君ノ說ニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○委員長代理立川雲平君 多數デアリマス、ソレデハ十五號案即チ花井君ノ案カラ
先キニ致シマス

○政府委員仲小路廉君 此際私ハ一言致シテ置キマスコトハ、此案ヲ御審議ニナルニ
付イテ、多少御參考ニナルト思ヒマスノデ、一應意見ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、本
日ノ案ハ、實ハ過般政府ヨリ提出致シマシタ、勅令第七十七號ト相關聯スル問題
デアリマシテ、本案ノ成立ハ百七十七號ノ運命ニモ關係スルコトデアリマスカラ、一
應同勅令竝ニ本案ニ關シ、所見ヲ申シタイト思ヒマス、承リマス、此勅令案ニハ、吾々
平生最モ尊重シテ居ル花井卓藏君ガ、餘程ノ御盡力ガアタモト見エテ、尙同君ガ
憲法ニ關係スル點、其他ニ付キ堂々タル御議論ガアッタ、之ニ就イテハ過日本院デモ、
御論旨ノ一端ヲ拜聽スルコトガ出來マシタガ、又本案ノ理由書ニモ御意見ノ程ガ、略々
見エテ居リマス、之ニ付イテ過日ノ本會ニ於テ、所見ヲ詳シク述べタイト思ヒマスガ、却
テ紛雜ヲ招クト思ヒマシタヨリ差控ヘマシタ、同君ノ意見ニ依ルト、斯ウ云フコトヲ言ハ
レテ居ル、人ノ生命身體自由ヲ拘束スベキ規定ハ、命令ニ依ルベキモノデナク、法律ニ依
ルベキコトガ、憲法ノ大趣意デアルト、恐ラク此點ニハ何人モ異議ヲ唱ヘルモノハアルマ
イ、勿論或刑罰ヲ規定スベキ命令ハ別トシテ、普通命令ニ規定サレナイモノハ、法律デ規
定スベキハ、何人モ異議ノナイ事柄デアル、併シナガラ普通法律ヲ以テ規定スベキ事柄
モ、或場合ニハ命令ヲ以テ規定シ得ルコトモ、亦憲法ノ認ムルコロゴ、適法ノ事柄ト
存ジマス、然ルニ花井君ガ、過日政府ヨリ提出致シマシタ緊急勅令ニ對シテ、議會ノ
承諾ヲ求ムルタメニ、政府ヨリ其理由ヲ述べマシタ際ニ、政府ハ人ノ生命身體自由ヲ
拘束スルニ、命令ニ依ラズシテ、法律ニ依ラナケレバナラヌコトヲ認メナケレバナラヌト、思
フガ、ドウデアルカ、如何ナル場合デモ、人ノ生命身體自由ニ關スルコトハ、命令ニ依ル
ヘキデナク、必ズ法律ニ依ラナケレバナラヌト云フコトヲ、政府ハ認メナケレバナラヌト
思フガ、ドウデアルト云フ御問デアッタ、當時私ハ同君ノ意見ヲ了解スルニ苦シム、曩ニ
申シマス通、普通ノ場合ニ於テハ、法律ノ形式ヲ以テナスベキコトハ明白デアルガ、併シ緊
急必要ノ場合ニハ、命令ヲ以テ規定シ得ベキ事ハ、憲法ノ條章デ明白ノ事ト思ヒマス、

然ルニ此場合ニ明敏ナル花井君ニシテ、此御問ノ出マスノハ、實ニ意外ニ感シタノデアリマス、所ガ尙其意味ヲ明白ニサレテ斯ウ云ハレタ、憲法八條ノ規定ハ、政府ガ議會ニ向ッテ、責任解除ヲ求メルノデ、私ノ見ルトコロニ依レバ、事情ヲ審シテ發布スベキ必要ガアルト認メテモ、當時發布シタダケノ責任ヲ解除スレバ、足ルベキ次第デゴザイマスカラ、一時限ニ効力ヲ消滅セシメテ、サウシテ開カレテ居ル議會ヘ、立派ナル法律ヲ出サシムル、若クハ出スト云フ事柄ガ、憲法八條ノ正經デアラウト、私ハ確信致シテ居ルト言ハレタ、此ニ至ッテ私ハ益々疑フ……

○森田卓爾君 チョット注意シマスガ、政府委員ハ何ヲ言フテ居ル、吾々ハ喧嘩ノ模様ヲ聞キニ來タノデハナイ、政府ハ反對トカ賛成トカ、其所見ヲ述ベルガ宜イ

○政府委員仲小路廉君 是ハ極メテ必要ノコト、思ヒマスカラ、詰リ所見ヲ明白ニシタイト思フノデアリマス

○委員長代理立川雲平君 委員長ガ今見エマシタカラ代リマス

(此時鳩山和夫君委員長席ニ着ク)

○政府委員仲小路廉君 委員長、引續キテ述ベテ宜シウゴザイマス

○委員長鳩山和夫君 宜シウゴザイマス

○政府委員仲小路廉君 今申シタヤウナコトヲ言ハレテ居ルガ、私ノ思フニ、憲法ニ關係スルコトハ、政府ノ意見デアルトカ議員ノ考デアルトカ云フコトデナク、此事ハ明瞭ニシタイト思ヒマス、御説ノ如クスルト、議會ガ承諾ヲ與ヘテ、將來ニ有效ニナル勅令ト云フモノハ、ナクナルコトナリ、何時デモ其事情ヲ斟酌シテ、是ハ尤モデアルト思ッテモ、其形ヲ法律ニ代ヘルト云フコトナリ、是ハ憲法ノ八條ニ於テ、許サレタ範圍ニ於テ、立法ノ行為ニアルト云フコトヲ、御承認ニナルガ當然ト思ヒマス、ソレカラ次ニハ、若シ斯様ノコトガアッタラバ、濫發フ……

○花井卓藏君 今政府委員ノ云ハレテ居ルコトハ、本會デ私ノ述ベタコトノ議論デアル、是ニ就イテ議論サレバ、私モ未ダ政府委員ノ倍位ハ云ハナケレバナラス……

○森田卓爾君 委員長、注意致シマスガ、政府委員ハ本會デ云フコトノ喧嘩ノ有様ヲ述ベテ居ル、政府ノ所信ガアレバ、ソレヲ云フガ宜イ、吾々ハ政府委員ト花井君ノ喧嘩ヲ聽キニ來タノデアリマス

○委員長鳩山和夫君 私ハ甚ダ失禮デスガ、今參ッテ其經過ヲ能ク存ジマセヌカラ、立川君カラ一應御話ヲ願ヒタイ

○立川雲平君 然ラバ御話ヲ致シマスガ、委員長ノ御出席ナイタメ、私が代理致シ、先ヅ鳩山君元田君ノ提出サレタ二十二號ヲ議案トスルト、宣告シタコロガ、異議ガアリマシタカラ、之ヲ議決ニ問フタコロガ、花井君ノ案ヲ先ニスルト云フコトナリマシテ、ソレカラ審議ニ掛リマシタコロガ、政府委員ハ此場合參考トナルコトデアルカラ、發言ヲ許サレタイト云フコトデ、即チ其演說中ナノデアリマス

○花井卓藏君 ヤハリ委員ニ諮リマセヌト、私モ今ノ政府委員ノ話ヲ聞クト、聞キ捨テニナリマセヌカラ、大ニ盛シニ論ジナケレバナラス、ソレデ御聽取下サルナラバ、宜シウゴザイマス

○立川雲平君 是ハ容易ナラヌ問題デスカラ、兩方ノ議論ヲ聞キマセウ

○委員長鳩山和夫君 チョット待ッテ下サイ、立川君カラノ引續キノ御話ニ依ルト、此案ヲ議スルニ付イテ、參考トナルベキコトヲ、政府委員ガ述ベタイト云フノデスガ、必要デナイノデスカ、必要デナケレバ……

○角田眞平君 仲小路君ニ御相談ガアリマスガ、斯ウ云フ御懸念ガアルヤウデ、此間ノ花井君ノ議場ノ演說ヲ、政府ガ開流ニシテ置クト、或點ハ默認シタヤウナ形ニナル虞ガアルト云フコト、モウ一ツハ、其影響デ政府カラ出シテアルトコロノ案マデガ、ドウ云フ決議ノ結果ヲ得ルカ、ソレモ氣遣ハシイカラ、此委員會ヲ利用シテ、此處デ以テ説明ヲシテ置クト、其方ノ政府ノ意思ガ分リ、此案ヲ決議スル便利モアルデアラウト、考ヘラレタノデアラウケレドモ、ソレハ頗ル討論ニ涉リマスカラ、ソレヨリモ吾々ハ質問ヲシ、答辯ガアッテ、ソレヲ機會トシテ、御演說ガアルト、聞クニモ都合ガ好イ、斯ウ云フ譯ニナリマス、委員會ハ仲小路サンノ御論ノ出來ルヤウニ、餘地ヲ保ツデアリマセウカラ、一ツサウ云フコトニ願ヒタイ

○委員長鳩山和夫君 是ハ花井君外一名ノ御提出案デゴザイマスカラ、先ヅ提出者カラ御説明ガアッテ、ソレニ對シテ御質問デモアレバ、御質問ガアッたら宜カラウト思ヒマス、花井君ガ御説ガアレバ、花井君ニ先ヅ發言ヲ許シマス

○花井卓藏君 仲小路君ノ演說ニ御答ハ致シマセヌ、ソレハ後ニ致シマスカラ、今ハ致シマセヌ、説明ト云フタコロデ、別ニ廉立ッタコトハ先ヅアリマセヌカラ、提出ノ理由ハ大體ニ於テ、此理由書ニ書イテアル通ト御承知ヲ願ヒタイ、即チ第一ノ理由ハ、現行ノ刑法ノ上ニ於テハ、外國ニ流通スル貨幣紙幣銀行券證券ノ偽造、若クハ變造ノ犯罪ニ付イテハ、規定ガ全ク無イノデアリマス、之ヲ取締ルガタメニ、此法案ヲ出シタコト云フノガ一ノ理由デス、又第二ニハ此點ニ關シテ、明治三十七年ノ勅令第七十七號ハゴザイマスケレドモ、是ハ罪ト刑トノ權衡ガ其當ヲ失シテ居リマスノミナラス、頗ル不備ノ點ガアリマスカラ、之ヲ補フト云フノガ、第二ノ理由ニナルデアリマス、第三ニハ、斯ノ如クニ勅令ニハ不備ノ點ガゴザイマスケレドモ、是ハ修正ヲシヤウト思ヒマシタコロデ、勅令ハ所謂勅令デ、法律デゴザイマセヌカラ、議員ノ權能ヲ以テシテハ、修正スルコトガ、出來ナイノデアリマスカラ、修正ノ餘地ノ存スル法律ニ依ルト云フ事柄ハ、現在ノ立法ノ上ニモ必要デアル、將來ニ於テ修正ヲ加ヘヤウトスル場合ニモ、便宜デアラウト云フ趣意ニ於テ、提案ヲシタノデアリマス、第四ノ理由ハ、斯ノ如クハ人身、生命自由ヲ奪フト云フ制裁ヲ課スル規程ハ、性質ト法律ニ依ルノガ原則デゴザイマス、是ニ關シテ仲小路君ノ論ガゴザイマシタガ、大體間違ッテ居ル、憲法上ノ議論ニ至ッテハ、大ナル間違デアル、一木君ナドノ憲法論モ讀ンデ見マシタケレドモ、僕ノ此論ニ反對ハ出來マセヌ、詳シイコトハ後ニ述ベマス、ソレカラ法文ニ就キマシテノ説明ヲ致シテ置キマスガ、御便宜デアラウト思ヒマス、此外國貨幣ニ關スル勅令ノ沿革ヲ申上ケテ置キマスガ、明治三十五年ノ十一月ノ勅令第二百六十五號ヲモチマシテ、外國通用白銅貨ノ偽造變造取締ニ關スル件ト題セラレタルトコロノ勅令ガ、出デ居リマス、ソレカラ明治三十六年四月十一日附ヲモチマシテ、勅令第七十三號ヲ以テ、外國通用ノ貨幣紙幣又ハ銀行券ノ偽造變造取締ノ件ト題セラレテ居ル勅令ガ出デ居リマス、ソレカラ次ニ明治三十七年ノ勅令第七十七號、即チ過日本會ノ議題ニナリマシタモノガ出デ居リマス、此關係ヲ調ベテ

見マスト云フト、一番當初ノ外國通用云々ト云フ分ノ勅令ニ依リマスルト云フト、一年以下ノ重禁錮、若クハ二百圓以内ノ罰金ニ處スル事柄ニナッテ居ル、ソレカラ二十六年ノ勅令七十三號ノ、外國通用ノ貨幣紙幣云々ト云フ分ニ依リマスルト云フト、ヤハリ一年以下ノ重禁錮、又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス、斯ウナッテ居リマス、之ヲ順ニ廢シテ來マシテ、昨年ノ勅令百七十七號ニナリマス、刑ヲ殆ド總テ重罪ト云フヤウナ經過ニナッテ居リマス、三十五年、三十六年ハ、一年以下ノ重禁錮二百圓以下ノ罰金ガ、三十七年ノ勅令ニナッテ、重罪刑ニ變化ヲ見テ居ル如ク、刑ニ劇變ヲ生ジテ來テ居ル事情ノアル點ヲ、御斟酌ヲ願ハネバナリマセヌ、ソレカラ今一ツハ、私ノ法案ノ第一條ノ中ニ、「流通セシムルノ目的ヲ以テ」ト文字ヲ削リマシテ、サウシテ是ニ替ヘルニ「行使」ト云フ文字ヲ用井マシタノハ、現行刑法ノ規定ニ標準ヲ取ッテ「行使」ト云フニ、斯ウ書イデアル、同ジク貨幣ニ關スル刑法罰法デアデ、一方ニハ「行使」ト文字ヲ削ッテ、之ニ替ヘルニ「流通セシムルノ目的」ト云フヤウナ、錯雜シタルコトハ、簡易ヲ貴ブ立法ノ本旨デナイト云フノデ、之ヲ替ヘタノデゴザイマス、ソレカラ同條ノ中デ、偽造變造ヲ同ジ刑ニ、私ノ取リマシタ所以ハ、元來此刑法上ノ論ト致シマシテ、偽造ト變造トノ分界ト云フモノヲ立ツベキモノデハナイ、變造ハ即チ偽造デアリマス、刑事法ノ原則ニ於テ、偽造變造ハ均シク偽造デス、殊ニ分界ヲ立ツルノ必要ハナイト云フノデ、刑ハ同様に盛ッテ譯デアリマス、ソレカラ第三條ノ所ニ、此「價格二倍ノ罰金ニ處ス」ト云フコトヲ書イデゴザイマスノモ、同ジ關係デ、現行法ガ價格二倍ト云フ事柄ニナッテ居リマスカラシテ、現行法トノ權衡ヲ取ルガタメニ斯様ニ定メタノデゴザイマス、ソレカラ第七條ニゴザイマスル中ニ、此自首ヲ「未ダ行使セザル前ニ於テ、自首シタ時ニ刑ヲ全免スル、斯ウ云フコトニ規定致シタノハ、即チ自首ヲ獎勵シテ、再犯ヲ禍ノ起ラザルニ、早ク絶滅スル」ト云フ事柄ヲ、犯人ニ向ッテ獎勵スルト云フ趣意ニシタノデアリマス、是ガ其免除スルコトヲ得ト云フ事柄ニ致シマスル、折角自首シテ參リマシテモ、或ハ免除セラレ、カ、免除セラレヌカヤ不明ノ間ニアリマス、ドウモ出テ往ッタトコロデ、免除サレヌ折ニハ詰ラヌト云フトキニハ、自首シテ來ル者ガナイヤウニナルト、自首ニ關スル法文ガ空文ニナリハセヌカト云フノデ、全免ノシタノデアリマス、外國法ナドモ對照シテ見タガ、之ヲ免除スルコトヲ得ト云フコトニナッテ居ルモノモアリマスガ、今日ノ刑事法ノ一般ノ刑法ハ、全免ト云フコトニナッテ居リマスカラ、ソレヲ私ハ探ッタノデアリマス、ソレカラ第九條ニ御注意ヲ願ヒタイ點ハ、官沒ニ關スル手續ハ、別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ムト、新タニ私ガ入レマシタ所以ハ、官沒ト云フノハ、ヤハリ一ノ刑デ、刑法ノ附加刑デアル、所ガ如何ニ之ヲ官沒スルカト云フコトハ、行政處分ニ讓ルト云フ事柄ニ、本文ハナッテ居ルノデアリマスカラ、別段ニ之ガ規定ヲ待ツニアラザレハ、處分ノ趣意ヲ全ウスルコトガ出來マイト思フノデアリマス、サウシテ官沒即チ刑ト云フ事柄ニナルト、委任ノ律ニ依ルカ、何カニ依リマシテ、法律ヲ定ムベキモノデアアルカラ、法律ヲ命令ノ方ニ讓ッテシマウト云フ條項ヲ加ヘヌトイカヌト思ヒマス、單ニ行政ノ處分ニ依ルト書イデアリマス、隨意適法ノ趣意デアルト云フ誤解ヲ當局者ガ探ッテハ、イカヌカラ、ヤハリ立法權ノ一部デアアルカラ、命令ニ委任スルノデアルト云フノデ、念ノタメニ之ヲ加ヘテ置イタノデアリマス、ソレカラ第八條——此前ニ戻リマシタ、官沒ニ關スル手

續ハ、九條デアリマス——八條ニ付イテ、チヨット申上ゲマスガ、八條ハ全ク新タニ加ヘタノデス、是ハ其外國ニ於テ同様ノ事件ニ付キマシテ、裁判ヲ受ケテ居ルモノヲ、再ビ日本ニ捕ヘテ來テ罰スルト云フ事柄ハ、固ヨリ差支ナイ話デゴザイマスケレドモ、略々同様ナ刑罰ノ執行ヲ受ケ、若クハ同様ナ刑罰以上ノ執行ヲ受ケタモノヲ、再ビ日本ニ捕ヘテ來テ、裁判ノ上デ罰スルト云フ事柄ハ差支ゴザイマセヌケレドモ、刑罰ヲ執行スルト云フコトニナルト、實ハ二重ノ刑ヲ一方デ受ケルト云フ事柄ニナリハシナイカ、斯ウ云フヤウナ事柄ガアツタ折ニ、誠ニ犯人ニ對シテ氣ノ毒ト云フ譯ハゴザイマセヌケレドモ、略々刑事法モ世界共通ト云フヤウナ傾ニナリ來テ、居ル今日デゴザイマスカラ、同ジ裁判ニ付イテ、同ジヤウナ刑ヲ受ケテ居ル以上ハ、之ニ對シテ執行ノ減免ヲスル事柄ハ、當然デアルト云フ趣意カラ、此規定ヲ設ケタ、是ハ全軀日本ノ法境、即チ法律ノ境デス——法境ノ問題ニナルノデアリマスガ、此規定ガナクテモ差支ナイト云フ論モ、或ハアルカモ知レマセヌガ、總テ外國ノ法律ナドモ對照致シテ見マシタガ、何レノ國ニ於キマシテモ、本國法ヲ外國ノ境上ニマデ及ボス場合ニハ、第八條ト同ジヤウナ規定ヲ、總則ノ上ニ掲ゲテゴザイマスカラ、ソレヲ探ッタノデアリマス、政府モ此點ニ關シマシテ、將ニ改正セントセラル、刑法草案ニ於テモ、是ト略々同様ナル法文ヲ掲ゲテ、法律ノ管轄ノ外國ニ及ボス場合ノ規定ヲ致シテ居リマスカラ、斯ウ云フコトニ致シマシタ、是ガ大體ノ法文ノ説明デゴザイマスルガ、チヨット最終ニ一ツ申上ゲテ置キタイノハ、施行期日ヲ命令ニ讓ッテ所以デアリマス、是ハ私ノ方カラ云フト、事後承諾ハ無論御與ヘニナラヌト信ジテ居リマスガ、若シ事後承諾ヲ御與ヘニナルコトガアッテモ、ヤハリ命令ヲ以テ期日ヲ定メルト云フコトニナッテ居ルト、新舊法ノ比照ノ場合、若クハ未決事件ノ解決ノ場合ニ、至極便利デアラウト云フノデ、施行期日ヲケノ權限ハ命令ニ授ケル、承諾ヲ與ヘル場合ニ於テモ、與ヘヌ場合ニ於テモ、斯ウシテアッタナラバ、便宜ガ宜カラウト云フノデ、之ヲ加ヘタノデアリマス、大體提出ノ理由ハ左様ナ次第デアリマス

○渡邊修君 此十五號、二十二號ノ案デス、申スマデモナイ、緊急勅令百七十七號カラ出ルノデアリマシテ、法律上ノコトニ付キマシテハ、委員ノ中ニ專門ノ澤山ナ學者ガ居ラレマスカラ、私共法律ヲ專門トシナイ者ハ、法律ニ付イテハ、ヤカマシク言ハヌ積デアリマスガ、此百七十七號ノ事ニ付キマシテ、政府ニ質問ヲ種々シテ見タイノデアリマス、ソレハイロ／＼文字ガ並ベデアリマスケレドモ、要スルニ此ノ緊急勅令デ、一ノ銀行ヲ偏頗ニ保護スル積デ出來テ居ル一ノ銀行紙幣保護法案ト云フテ宜カラウト思ヒマス、所ガ外國ニ流通スル金銀貨紙幣ナドアリマスケレドモ、是等ヲ偽造スル場合ハ、殆ドナカラウト思ヒマス、是マデ朝鮮ノ白銅貨ガゴザイマシタケレドモ、アレハ此度御承知ノ通引上ケルコトニナッテ居リマス、アレヲ止メテシマウト、實際斯ウ云フ場合ハ起ラヌ、外國ニ流通スル金銀貨紙幣ハナイ、多クノ銀行券、即チ第一銀行券ノコトデアリマセウト思ヒマス、尤モ帝國發行ノ軍用手票ト云フヤウナモノモアリマスカラ、アレモ含マレデアリマセウガ、重モ此法律ノ起ッタノハ、第一銀行券ノタメニ起ッタモノト察セラレノデアアル、所デ犯罪ノ數ガ仲小路君ノ御答デハ、此委員會ノ時ノ答ト過日本會ニ於テ答ニラレタコト、異ッテ居ルヤウデアリマス、ソレヲ第一ニ聞イテ見タイト思フ、委員會ノ速記録ヲ見ヌト、銀行券ノ偽造ニ關スル處分ノ未濟ガ四千九百五件、既濟ガ千七百八十六件トアッテ、本月二十

四日ノ本會議ニ於テ、花井君ノ問ニ對シテハ、處分濟ガ三十三件、處分未濟ガ三十八件ト、斯ウ云フ答ニナッテ居リマス、何レガ事實デアルカ、甚ダ疑フデアリマス、要スルニ此種類ヲ分ケテ、犯罪人ノ數ヲ示シテ貰ヒタイ、外國ニ流通スル金銀貨ノ犯罪件數ガ幾ラ、紙幣ノ犯罪件數ガ幾ラ、銀行券ノ犯罪件數ガ幾ラ、證券ノ犯罪件數ガ幾ラト、之ヲ區別シテ第一ニ承リタイ、蓋シ他ニナクテ銀行券ハカリダウト思ッテ居リマス

○政府委員仲小路廉君 唯今ノ御尋ノ中ノ外國ニ於ケル金銀貨ニ關スルモノガ、實際アツタカドウカト云フコトニ付イテハ、マダゴザイマセヌ、ソレカラ白銅貨ノコトニ就キマシテハ、委員會デ申上ゲマシタコト、本會デ申上ゲマシタコト、數字ノ違ヒガアルト云フコトハ、是ハ委員會デ申上ゲタ方ハ、偽造品ノ發見員數ヲ申シタノデ、本會デ申上ゲマシタノハ何人アルカト云フ人ノ方ヲ、重モニ申シタノデ、ソレデ發見員數ハ、委員會デ申上ゲタ通ナデス

○渡邊修君 ソノ間違ヒノコトハ、ドウデモ宜ウゴザイマスガ、實際ノ數ヲ此處デ御話ニナリタイ

○政府委員仲小路廉君 調べハイロノニシテゴザイマスルノデ、是ハ先ニ申上ゲタ通ニ、三十五年ノ勅令二百五十六號施行前ノ分ト、ソレカラ更ニ三十七年ノ勅令百七十七號マデノ分ト、ソレカラ三十七年ノ勅令百七十七號ガ施行ニナッテカラ後ノ分ト、分ケテアルノデス、此表ヲ御覽下サレバ、ソレハ一々分リマス

○渡邊修君 ソレデハ、表ヲ拜見スルコトニシマセウ、要スルニ金銀貨モ無イ紙幣モ無イト云フ……

○政府委員仲小路廉君 外國紙幣ハアリマス

○渡邊修君 ドノ位

○政府委員仲小路廉君 外國紙幣發見ノ員數ハ、三千三百六十一

○渡邊修君 何時頃ノ調デスカ

○政府委員仲小路廉君 三十七年ノ勅令百七十七號施行ヨリ、十月末日マデノ分デス

○渡邊修君 此銀行券ト云フモノハ、約束手形デモナシ、爲替手形デモナシ、小切手デモナイヤウデアリマスガ、政府ハ之ヲ何ト見テ居ルノデアルカ、私ハ茲ニ見本ヲ持テ來テ居リマスガ、(見本ヲ示ス)斯ウ云フモノハ、政府ハ何ト見ルカ、ヤハリ爲替手形デスカ

○政府委員平沼騏一郎君 此銀行券ノ性質ニ就キマシテハ、或ハイロノ議論モ生ズルカ知レマセヌガ、政府デハ約束手形トハ見テ居リマセヌ

○渡邊修君 何ト御覽ニナリマス

○政府委員平沼騏一郎君 ヤハリ一種ノ紙幣ノ性質ヲ有ッテ居ルモノト認メマス

○渡邊修君 所ガ其紙幣ノ發行ヲ、何ノ法律デ以テ政府ガ許シタカ、日本銀行ハ日本銀行ノ條例ガアッテ、兌換券ヲ發行スルコトハ出來マスガ、第一銀行ガ今政府委員ノ解釋通、斯ウ紙幣ヲ何ノ法律ニ依ッテ發行スルコトガ、出來タカト云フコトヲ、聞キタイ、今日ノ銀行條例ニハ、サウ云フコトハ見エナイ

○政府委員平沼騏一郎君 其點ニ就キマシテハ、大藏省ノ政府委員カラ御答ヲシタ方ガ、正確ニナルマイカト考ヘマスカラ、大藏省ノ政府委員ノ出席ヲ促シタイと思ヒマス

○委員長鳩山和夫君 其方ガ宜イデセウ

○渡邊修君 ソレデモ宜シウゴザイマス、尙チヨット伺ヒマスガ、是ハ前回ノ委員會デ、御聞キニナッテ御方ガアルヤウデスガ、大藏省ノ政府委員ノ言明ニ依レバ、無論ハ不穩當デゴザイマス

○政府委員平沼騏一郎君 ソレハ詰リ大藏省ノ政府委員カラ、御答シタヤウデアリマスガ、尙正確ナコトハ、大藏省ノ政府委員カラ御聞キヲ願ヒタイ

○委員長鳩山和夫君 ソレデハ大藏省ノ政府委員ノ出席マデ、其點ハ延期シテハドウデスカ

○渡邊修君 ソレデモ宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 唯今渡邊君ノ質問ニ依ッテ、政府委員ノ答ヘラレタコロヲ見マスルト云フト、此金銀貨ト云フ方ニ付イテハ、別ニ犯罪ガナカッタト云フコトデアリマスガ、サウデスカ

○政府委員仲小路廉君 左様デゴザイマス

○森田卓爾君 チヨット政府委員ニ御尋致シマスガ、唯今改正ナリ、又死活ヲセシメヤウト云フ勅令ヨリ以前ノ勅令ガゴザイマス、其前ノ勅令ト、此度ノ死活セシメヤウト云フ勅令トハ、同シ事ヲ防壓スル、取締ルト云フ目的ヲ有ッテ居リナカラ、刑ナリ何ナリ、規定ノ内容ガ大變違ッテ居リマスガ、アレハ前ノハ是ダケノ重刑ヲ以テ、取締ル必要モナク、是ダケノ規定ヲ設ケル必要モ無カッタガ、後ノ分ハ同シ事柄ニ對シテ、是ダケニ規定ヲ變ヘ、刑モ變ヘナケレバナラヌト云フコトニナッタノハ、ドウ云フ譯デアルカ、初ニハ極ク輕微ナ刑ヲ以テ取締リ得ルコト、信ジテ居タケレドモ、後ニハ何カ事情ガ變ッテ、同シ事柄ニ對シテ變ヘナケレバナラヌト云フコトニナッタノデアリマセウカ、或ハ唯盲蛇ニ何ノ意味モナク、其日暮シニ時々御變ヘニナッタノデ、深イ意味ガナイノデアリマセウカ

○委員長鳩山和夫君 チヨット御注意申シテ置キマスガ、緊急勅令ニ承諾ヲ與フルヤ否ヤト云フヤウナコトハ、間接ニモ此委員會ニ於テ議スベキコトデナカラウト思ヒマス、間接ニ影響ヲ及ボスカドウカ知レマセヌガ、唯今ハ花井君ノ提出案ヲ議シテ居ルノデアリマスカラ、緊急勅令ニ承諾ヲ與フルヤ否ヤト云フヤウナコトハ、成ベク言葉ヲ避ケテ戴キタイと思ヒマス

○森田卓爾君 其御答ヲ聞ケバ分リマス

○政府委員仲小路廉君 實ハ刑期ヲ高メマスルト云フコトハ、是ハ實際ニ於テ必要デアルノデス、其事ハ緊急勅令ノ方ニ關係スル譯デスカラ、此席デハ避ケマスルガ、御出シニナッテ法律案ニシテモ、ヤハリ刑期ハ成ベク重ク適用セヌト、前ノ分デハ實際取締ガ着キカネルノデス、ソレハ今日茲ニ現在出來テ居ル品物ヲ持ッテ參リマシタガ、品物自體ガ隨分精巧ニモ出來テ居リマスルシ、而モ尙ソレヲ製造シマスルノモ、七八千乃至一万近イモノヲ、諸方デ造ル譯ナデス、ソレガ五圓若クハ十圓ト致シマシテモ、其高ハ七八萬圓、乃至十萬圓近クモナリマスノデ、ソレ等ノ事柄ヲ僅ニ二重禁錮一年若クハ罰金五百圓ト云フコトニナルト、罰金ハ六百圓ヲ納メテモ、尙七八萬圓十萬圓ニナルカラ、犯罪ヲヤデ見ヤウト云フコトガ、現在諸方ニ行ハレマシテ、ソレモ普通ノ場合ナラバ、サシタルコトモアリマセヌガ、丁度昨年ノ時局ト共ニ、朝鮮ナドニ種々ノモノガ澤山參リマシテ、斯ルコト

が諸方ニ行ハレマシタ、是ニ付キマシテハ、外務省カラモ詳シキ御話ガアリマセウガ、實際取締ガ付キ兼ネマスル結果、是マデノ勅令デハ、取締リガ付キ兼ネルト云フコトカラ、出タノデアリマス

○森田卓爾君 唯今ノ御答ハ、ソレハ事柄ガ精巧ニナツタト云フコト、犯罪ノ數ガ多クナツタト云フコト、私ノ御尋ネハ同性質ノ犯罪ニ向ッテ、刑ノ輕重ヲ來サナケレバナラヌノハ、ドウ云フ譯カト云フノデ、變造ハドモマ變造デ、同ジ種類同ジ性質ニシテ、始ハ輕ク後ハ重クシナケレバナラヌヤウニナツタノハ、ドウカト云フ御尋ネデアッテ、今ノ御答デハ私ノ問ニハ副ハナイノデアリマス

○政府委員仲小路廉君 刑罰ノ定メ方ハ、事實害ノ如何ニ因ルト思ヒマスノデ、事實害ガ多クアルモノハ、刑ヲ重クシナケレバ、取締リガ付キマセヌト思ヒマス

○森田卓爾君 要領ハ得マセヌガ、先ヅソレハサウトシテ、今度ハ露骨ニ問ヒマスガ、此勅令ニ付イテ始ノ分ハ、重モニ硬貨ヲ取締ル方デ御發布ニナツテ、後ノハ專ラ第一銀行ノ何ント云ヒマスガ、手形ヲ保護スル方ガ餘計デ、發布スル必要ガアツタト云フコトヲ、世間デ申シテ居ルコトヲ聞キマシタガ、果シテサウデスカ、是ニ就イテハ明カニ御答ヲ願ヒタイ

○政府委員仲小路廉君 是ハ甚ダ迷惑ヲ致シマス、唯今持ッテ來テ居ル、獨リ銀行券ハカリデアリマセヌ、種々ノ紙幣ガ偽造サレテ居ル、昨年ノ四月ニ彼ノ軍用手票ガ發表サレタ、是ニ就イテモ、何ノ制裁ガナイトキニハ、偽造變造勝手次第ニナツテシマウト云フノデ、ソレデ勅令ニ付イテモ、次ノ議會マデ、待ッ暇ガナカッタノデアリマス、此事ハ又勅令ニ關係致シマスカラ、今申上ゲマセヌガ、實際一ツノ銀行ノコトバカリデハナイノデアリマス

○渡邊修君 御答ガ出來マシマス、ドウカ知レマセヌガ、大藏省ノ方ガ便利カ知レマセヌガ、待ッ居ルノモ長ウゴザイマスカ、チヨット伺ッテ見マスガ、彼ノ仁川ニ置イテアル香港上海「バンク」デハ第一銀行券ハ金ト見做サナイト云フコトヲ言ッテ居リマスガ、果シテサウデアリマスカ

○政府委員平沼騏一郎君 其點モ大藏省ノ政府委員カラ、御聞ヲ願ヒタイト思ヒマス

○渡邊修君 京城ニ在留シテ居ル日本ノ商人ガ、第一銀行ノ紙幣ハ、自分ノ店デハ受理シナイト云フコトヲ、新聞ニ廣告シタ、ソレハ何ニカ事情ガアリマシタノデセウガ——所ガ林公使——朝鮮駐劄日本公使ハ、其商人ヲ呼寄セテ、怪シカラヌ廣告ヲスルジヤナイカ、直グニ取消セ、若シ取消サナケレバ、退韓ヲ命ズルト云フノデ、商人モ取消シタト云フコトヲ聞キマシタガ、其實ハアリマシタノデスカ

○政府委員石井菊次郎君 サウ云フコトハアツタカ、ナカッタカト云フコトハ、何ントモ報告ガゴザイマセヌカラ、斷言ハ致シマセヌガ、殆ドサウ云フコトハ、先ヅ無イト云フデ宜カラウト思ヒマス、ドウモサウ云フコトハ、退韓サセル等ノ職權ノナイ、公使ノヤルベキコトデナイカラ、外務省ニ於テモ、報告ノナイ限ハ、ナイトモアルトモ言ハレマセヌガ、決シテアリ得ベカラザルコト、信ジテ居リマス

○渡邊修君 朝鮮ニ今有リマスル日本ノ通貨及第一銀行券ニシテ、現在ノ流通高ハ幾ラデスカ、是モ大藏省デナケレバ分リマセヌカ

○委員長鳩山和夫君 是モヤハリ大藏省ノ方デナケレバ分リマシマス

○渡邊修君 ソレデハモウ一ツ、第一銀行券ノヤウナ紙幣ヲ、他ノ銀行ガ同ジ條件デ願ヒ出テモ、決シテ許サナイト云フコトガ、閣議デ極ツタト云フコトヲ聞キマシタガ、果シテサウ云フコトガアリマシタカ、如何デスカ

○司法大臣波多野敬直君 唯今ノ渡邊君ノ御質問デゴザイヌガ、私ノ入閣以來、其事ハ承ツタコトハアリマセヌカラ、何ントモ御答ハ出來マセヌ

○大淵龍太郎君 私ハ一ノ動議ガアリマス、十五號ガ唯今議題ニ上ッテ居リマスガ、御承知ノ如ク二十一號ト殆ド同一ノモノデ、此十五號ガドウ決定ニナルカ分リマセヌケレドモ、私ノ希望スルトコロデハ、二十二號モ加ヘマシテ、サウシテ幸ヒ提出者ノ花井君ナリ鳩山君、元田君モ委員デ居ラレマスカラ、御話合ノ上デ、此法案修正事項ニ付イテ、御協議ニナツテ、然後ニ議シタ方ガ大變便利ト思フ、ドウカサウ云フ風ニ願ヒタイト云フ動議ヲ提出致シマス

○元田肇君 私ハ先刻既ニ提出ノ譯ヲ申上ゲタコトデゴザイマシテ、花井君ノ案モ出テ居リマスケレドモ、良イ所ハ同ジモノト云フコトガアルノデアリマシテ、唯刑ノ輕重ニ至ッテ、私共ハ内地同様ニ取締リ、當局者實地ノ意見モ左様アラウト信ジテ、重クシタ譯デアリマス、大體サウ云フコトニナツテ居リマスカラ、諸君ノ御判斷ニ訴ヘテ、原案ヲ採ルナリ、修正案ヲ採ルナリ、ソレデ決シタラ宜カラウト思フ、誠ニ簡便ナ法デアリマシテ、ソレデケノ違ヒナシデアリマスカ、委員長ノ御意見ハ如何デアルカ知リマセヌガ、今日大藏部面ノ御方ガ御出ニナラヌ以上ハ、今日ニ限ッテ話デナイカラ、十分質問シタ上デドチナリ御判斷ヲ願ッダラ、ドウダラウト思フ

○委員長鳩山和夫君 之ヲ中止シテ置イテ、俘虜ノ方ヲヤッテハ、如何デアリマスカ、折角ガ集マツタモノデアリマスカ……

（贊成々々ト呼フ者アリ）
○委員長鳩山和夫君 ソレデハ此ノ貨幣ニ關スル部分ハ、コ、デ止メマシテ、第十九二十三ト、同一ノ案ガ出テ居リマスガ、此進行ノ方法ハ如何ニ致シマスカ

○森肇君 二十三號ノ案ヲ議題トシテ御議ニナランコトヲ願ヒマス

○大淵龍太郎君 私ハ合併シテ願ヒタイ

○森田卓爾君 二十三號カラヤッテ戴キタウゴザイマス

○花井卓藏君 私ハ十九號カラヤッテ戴キタイト思ヒマス

○委員長鳩山和夫君 御説ガ分レテ居リマスカラ、採決シマス、二十三號ヲ議案トスルト云フコトニ、御同意ノ諸君ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ——少數ノヤウデアリマス

（多數々々ト呼フ者アリ）
○委員長鳩山和夫君 モウ一遍手ヲ舉ゲテ下サイ

○委員長鳩山和夫君 過半数デアリマス、ソレデハ二十三號ノ方カラデス、サウスルト斯ウナリマス、二十三號 議案ヲ本トシテ、是ト違ッテ居ル部分ハ——十九號ト違ッテ居ル部分ハ、修正案トシテ提出者カラ御出シニナルコトヲ願ヒマス

○花井卓藏君 併シ其合併シテ審査スルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、案ハ

獨立シタル十九號案デゴザイマスカラ、大淵君ノ云ハル、ヤウニ、合併シテ審議スルト云フコトナレバ甚ダ意味ヲナシテ居ルケレドモ、二十三號案デケテ十九號ヲ序ノ折ニヤッタト云フンデヤ、ドウモ付託ノ範圍ガドンナモノデアリマス、チヨット私ハ分ラヌデアリマスガ……

○委員長鳩山和夫君 サウスレバ、二十三號ヲ議シテ、議シ終ッテシマッテ、十九號ニ及ブト云フコトニシマス——正則ニ依ッテ、ヤハリ一案ヅ、議題トスルコトニ致シマス、二十三號ヨリ此際審議ヲ始メマス

○花井卓藏君 元田君ニ提出ノ理由ヲ承リタウゴザイマス

○元田肇君 私ハムツカシイ理由ハ一向ゴザイマセヌノデ、緊急勅令ト云フコトハ——緊急勅令ガ不備デナケレバ、ソレデ宜シインデアリマスガ、段々取調タラ大抵宜シイケレドモ、成ベク審議ノ經テ、多少加ヘルコトガアッタラ宜シイト云フノデ、其不備ヲ補ウガタメニ出シタノデアリマシテ、趣意ハソウデアリマス、其他ノ惡イトコロハ、皆サントウツ御修正ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 質問ガアリマス、第七條ニ軍法會議ニ於テ俘虜ノ犯罪ヲ審判スルトキハ其ノ階級ニ應ジ帝國軍人ニ關スル規定ヲ準用ス、斯ウ云フコトガ書イテアル、ソレカラ陸軍治罪法ノ第二十五條ノ規定ニ依ルト「俘虜降人ノ犯罪ハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス」ト書イテアル、言フマデモナク、俘虜ハ無論軍人トシテ待遇ヲ與フベキモノデアッテ、其犯罪ヲ審判スルニシテモ、軍法會議ニ於テ審判スベキモノデアルト云フ規定ハ、既ニ現在ノ法律ニ、立派ニ定メラレテアル、ソレヲ殊ニ七條ニ御掲ゲニナッタ理由ガ、ドノ邊ニアルカト云フコトガ第一、ソレカラ今一ツハ、此俘虜處罰ニ關スル法律ト云フモノハ、性質上主法ノ性質ヲ以テ居ルモノデアッテ、決シテ助法デハナイ、根法デアッテ、手續法デハナイ、然ルニ斯ウ云フヤウニ、助法ニ殊更ニ掲ゲタノハ、ドウ云フ理由カラ起ッタノデアリマス、此二ツニ付イテ七條ノ御答ヲ願ヒタシ

○元田肇君 御答致シマスガ、此俘虜ニ關スル處罰ノ法律ヲ定メルニ付イテ、結局斯ウ記載シタ方が宜イト云フ考ヘデ書イタノデ、勅令ノ分ニハ、此事ハゴザイマセヌケレドモ、之ハヤハリ階級ニ應ジテ、被告ニ關スル規定ヲ準用シテ、斯ウ記載シタ方が宜シイト思ッテ、書イタ譯デアリマス 御非難ガアリマスナレバ、諸君ノ判斷デ御削リニナリマシテモ、一向構ヒマセヌ

○森田卓藏君 政府ノ方ニ御尋フシテ見タイガ、此附則ノトコロデアリマスガ、此附則ニ依ルト云フ、「本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」明治三十七年勅令第二百二十五號ハ之ヲ廢止ス」トアル、發案者ノ方デハ、勅令ノ二百二十五號ニ向ッテ承諾ヲ與ヘルガ宜イカト云フ——其モノガ生キテ居ルト見テ、發題者ハ出サレタモノト見マスレバ、此點ニ付イテ不足ハアリマセヌガ、政府ノ御考ヘデハ、二百二十五號ハ承諾ヲ與ヘナカタ時ニハ、若クハ之ヲ與ヘタ時ニハ——與ヘルト云フコトニナルト、斯ウ云フ附則ヲ拵ヘテ廢止スト云フコトヲ云フタナレバ、廢止セラル、モノデアルカ、又ハ是ガナクテモ、承諾ヲ與ヘヌ時ニハ、廢止セラル、モノデアルカト云フ——之ハ法律上ノ疑問デアリマス

○政府委員平沼騏一郎君 御答致シマス、唯今ノ御問ハ、斯ウ云フコトニ相成リマスカラ、政府ノ方ニ尋タ方が宜シイト思フ

「本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス」明治三十七年勅令第二百二十五號ハ之ヲ廢止ス」ト、斯ウ附則ニアリマスガ、若モ緊急勅令ニ承諾ヲ與ヘテ居ルナラバ——與ヘタ上ニ、此法律ガ發布セラル、ナレバ、自然緊急勅令ハ廢止サル、モノト云フ御尋ネニ承リマシタガ、左様デゴザイマス

○森田卓藏君 左様デゴザイマス

○政府委員平沼騏一郎君 ソレハ法律ノ解釋ト致シマシテ、詰リ俘虜ガ處罰ノ法案ハ、緊急勅令トシテハアリマシテ、其後ニ又同一ノ内容ヲ有スルコロノ法律ガ、出マシタノデゴザイマスカラ、或ハ當然ノ結果デアル、當然廢止セラル、ノデアルト云フ解釋ガ、穩當ノヤウニ考ヘマスルガ、併シ廢止スルト云フコトガ、又特ニ明言致シマスル方が、疑ヲ避ケルニハ宜イノデゴザイマス、此明治三十七年勅令第二百二十五號ハ、之ヲ廢止スルト云フ明文ガゴザイマシテモ、差支ナイコト、考ヘマス

○森田卓藏君 サウスルト、勅令ト云フモノガ、生キテ居ル場合ニハ、法律ヲ以テ特ニ廢止スルト云フコトヲ云ハナケレバ、同ジ法律ト勅令トガ並ビ立ッタ時デモ、廢止スル必要ガナイト云フ御意見デスカ

○政府委員平沼騏一郎君 ソレハ先刻申シマシタ通り、或ハアリマセヌデモ、廢止サレタト云フ結果ニ相成ラウト考ヘマス

○森田卓藏君 ソレデハ、政府ノ意見ハドウナリマス

○政府委員平沼騏一郎君 單純ニ斯ウ云フ意味デアリマス、無グトモ廢止サレルコトニナル、併ナガラ勅令ヲ廢止スルトカ、法律ヲ廢止スルトカ云フコトハ、分リ切ッタ場合デアリマシテモ、書イテアリマス例モ澤山アリマスカラ、書イテアリマシテモ、不都合ハナイ、斯ウ云フノデアリマス

○花井卓藏君 今ノ點デスカ、何モ活字ヲ澤山殖ヤス必要モ何モナイノデ、私ノ考デハ、日本ノ總テノ法律ノ改廢ノ形式ガ、極メテ錯雜シテ居リマスケレドモ、今日ハ多ク後ノ法律ガ、前ノ法律ヲ吞ムト云フ原則ヲ、盛ニ用井ラレテ居ルヤウニ存ジテ居リマスガ、是ガナケレバ不都合デアルト云フ、御考デゴザイマセウカ、無クテ宜イト云フノヲ、當前ト御考ニナッテ居リマス、今ノト似タヤウナ問デアリマスケレドモ、一般ノ形式ノ上カラ、御尋ネヲシマス

○委員長鳩山和夫君 成ベク質問ハ質問ニシテ、議論ノ時ニヤッタ方が宜シウゴザイマセウ

○花井卓藏君 議論デハゴザイマセヌ

○政府委員平沼騏一郎君 勿論解釋ハ唯今私が申シマシタヤウニナリマスガ、是マデノ例ガ多ク置イデアリマスカラ、置キマシタ方が宜イヤウニ考ヘマス

○委員長鳩山和夫君 第二讀會ヲ開クヤ否ヤト云フコトニ付イテ、採決シヤウト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 然ラバ第二讀會ヲ別段ニ開キマス

○元田肇君 花井君カラ特ニ提案ノ趣旨ヲ承ハリタイト云フコトデアリマシタガ、私ハ有劾ニ申上ゲマス、法律ヲ作ルニ付イテハ、政府ト見解ノ違フトキハ、吾々ハ獨立シテヤ

リマス、唯將來ニ行フベキモノハ、成ベク實地ニ適合スル法律ヲ拵ヘタイト云フ考デアリ
マシテ、此案ハ自分一人デ、勿論淺學ノ私ガ案ヲ起シタノデナク、當局者ノ實験、或ハ
其他ノ意見モ參照シマシテ、之ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、ソレデ先ヅ斯ウ云フコ
トガ、當局デモ宜シイ、又自分デモ相當デアラウト考ヘタ故ニ、茲ニ提案シテ、諸君ノ御
賛成ヲ願フ次第デアリマス、提案ノ理由ハ、唯今ノ陸軍ノ階級ニ應ジテ、帝國軍人ニ
關スル規定ヲ準用スルコトモ、緊急勅令ニ依リテスガ、是ハ當局者ガ御出ニナルカラ、ド
ウ云フ御意見ガアルカ知リマセヌガ、私ノ考デアハ、尙明カニ記載シタ方ガ宜カラウト思ヒマ
ス、理論上カラ見テモ、無論ノ話デアルト云フ、御説ガアルカモ知レマセヌケレドモ、多少
ノ疑ガアルモノナラバ、サウヤッタ宜シカラウト云フデアリマス

○森田卓爾君 其事ニ付イテ、私モ申上ゲテ置キマス、附則ニ付イテ申上ゲマシタノハ、
是ハ決シテ此案ヲ非難スルタメニ申上ゲタノデナイ、私モ是ハ必要デアル、併ナガラ政府
ニ異論ガ出テ、之ヲ沒却セラレテハナラヌト云フノデアル、政府ノ意見ヲ定メテ、大軀私
共相談シテ出シタ案デゴザイマスカラ、決シテ非難スル案デナイ、政府ガ御異議ガナイナ
ラバ、私ハ満足スル、元田君ノヤウナ疑ヲ抱イテハ困リマス

○磯部四郎君 私ハヤハリ逐條デゴザイマセヌガ、此勅令第二百二十五號ト、ソレカラ
元田君ノ提出ニナリマシタ二十二號デゴザイマス、大軀ニ於テ、是ハドレダケ異ナルノデ
ゴザイマセウカ、ソレヲ同ジデ置キタイ

○元田肇君 大軀同ジデアリマス、併ナガラ尙申上ゲテ置キマスガ、諸君ノ立法部ノ能
カラ以テ、完全ナル法律ニ致シタイ、ソレモ申シテ置キマス

○委員長鳩山和夫君 ソレデハ、第一條ヲ議題ト致シマス、御意見ガアレバ速ニ御説
明ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 第一條ニ修正ヲ加ヘタイ文句ハ、私ノ案ノ通、即チ末段ニ「其情輕キ
者ハ六月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス」斯ウアルノヲ「其情重キ者ハ死刑ニ處ス」ト修
正シタイ、其理由ハ別ニ申上ゲル程ノ必要モゴザイマセヌガ、俘虜ハ素ヨリ罪人デハナ
イ、ヤハリ軍人ヲ以テ待タナケレバナラヌノデゴザイマスケレドモ、之ヲ軍人トシテ待ツ所以
ハ、何モ強ク優遇ヲスルト云フ趣意デハナイ、内外國ニ拘ハラズ、軍人ハ軍人デアル、斯ウ
云フ趣意ニ見ルダケノ、一種ノ國際法ノ相互主義カラ參リマシタコロノ、恩惠ト云フデモ
宜イ、或ハ仁惠ト云フデモ宜カラウト思ヒマス、ソコデ此監視者ニ對シ、若クハ監督者ニ對
シ、或ハ護送者ニ對シテ、反抗ヲスルトカ、暴行ヲスルトカ云フコトハ、程度ノ問題デアリマ
スケレドモ、反抗ノ度ノ甚シキモノ、暴行ノ度ノ甚シキモノニ至ッテハ、固ヨリ俘虜ノ法案ニ
現レテ居ルヤウナ、犯罪ヲ犯スベキ場合ハ、戰局ノ當時ニアルベキ管デアル、故ニ輕イ分デ
モ、重禁獄ニ處シテ差支アルマイ、重イ分ハ死刑ニスルモ尙可ナリト云フ意見ヲ有ッテ居
ル、是ハヤハリ現行ノ陸軍刑法、海軍刑法ト對照シマシタケレドモ、ヤハリ反抗暴行ト云
フヤウナ事柄ハ、隨分重ク見テ居リマス、然ルニ殊ニ俘虜ヲ待ツト云フ事柄ヲ、無暗ニ寬
ニ——優遇ト云フ趣意ニ見ナクッデモ宜カラウト思ヒマス、現行陸軍刑法ト海軍刑法ト、
調和ノ上カラ見マシテモ、ソレカラ俘虜本來ノ性質ノ上カラ見マシテモ、ソレカラ俘虜ニ
對スル懲罰、刑法ノ——一般ノ國際法ノ先例等ヲ調ベテモ、隨分ノ射撃シテモ宜イ
位ナ規定ガアリマスカラ、私ハ重イ分ハ死刑ニスル位ニシテ行カケレバナラマイト云フ主

義デアリマス

○元田肇君 チョット辯明シテ置キマスガ、此原案ヲ斯クノ如ク致シテ趣意ハ、第一條
ト第二條ト權衡ヲ保タシムルタメデアリマシテ、唯今ノ花井君ノ如クニスルト、第二條ト
同一ニナルト思ヒマス、第一條ハ護送者等ニ對シテノ場合デアリマシテ、第二條ハ多衆ガ
共謀シテ前條ノ所爲ガアルト云フデアリマス、多衆デサウ云フコトヲ共謀シテスルノデ、
此二條ハ重クナッテ居リマスガ、第一條ハソレヨリモ輕クナラナラヌデアリマス、花
井君ノ案ノ如クニ致スト、第二條ト第一條ハ、同一ノ刑ニナリハシナイカト思ヒマス、サ
ウシマスト多衆デアル者ト、一人デヤッタ者トノ權衡ガ同ジコトニナルト思ヒマス、斯ウ考
ヘマスノデ、私ハ原案ヲ維持シタイト思フノデゴザイマス

○花井卓藏君 駁論ヲスル程ノ必要ハアリマセヌガ、二條トノ權衡論ガ出マシタカラ、
私ノ考ヲ述ベテ置キマス、私ノ見ル所デハ、此第二條ノ場合ニハ、實ハ一般刑法ニアル
兇徒嘯聚ト同ジ趣意デ、暴行等ノ程度ハ素ヨリ區別スルコトハ出來マセヌケレドモ、大勢
ガガヤノ、騷イデ、反抗ヲ試ルトカ、暴行ヲスルトカ云フ場合ニ當ッテハ、輕イ分ハ——
附和隨行ノ分ハ其儘ニシテ置ケケレドモ、其中デ重立ッタ者ハ死刑ニスルト云フ趣意ニ
分界ヲスルノガ、第二條デアルト思ヒマス、又權衡論モアリマスケレドモ、死ニ至ルベキ刑
罰ノ上ニ於テハ、現行法ノ上ニ於テモ、毒殺デモ、虐殺デモ、親殺デモ、普通一般ノ人
殺デモ、同ジク死刑ト云フ規定ガアルト同ジコトデアリマス、故ニ私ノ修正案通、通過セ
ンコトヲ望ミマス

○立川雲平君 私ハ花井君ノ説ニ反對致シマス、死刑ニ處スルニ其情重キモノハ——
一ツノ裁判官ニ委スルト云フコトハ宜シクナイ、俘虜ト雖モ、勿論人デアリマス、死刑ナ
ルモノハ、再ビ活カスコトノ出來ナイモノニ、罪ヲ科スルノデアリマス、「何々ノ罪ヲ犯シタ
ル者ハ死刑ニ處ス」ト云フデモ如何カト思フ、「其情重キモノハ」ト漠然タルコトヲ以テ、死
刑ヲ定ムルト云フコトハ甚ダ宜クナイ、ダカラ反對致シマス

○森田卓藏君 私ハ此原案ノ方ガ宜カラウト思ヒマス、是ハ餘程考ヘタコト、思ヒマス
ガ、第一條ノ俘虜ノ犯罪ト云フモノハ、監視者ノアル場合ヲ指シテ、而シテ一人若クハ
少數ノ數人ノコトヲ豫想シタモノデ、一人若クハ少數ノ數人ガ、監督者監視者ノ下ニ
在ッテノ犯罪デス、之ニ對シテ非常ナ暴行ヲサセルト云フコトハ、殆ド豫想ガ出來ナイコ
トデアリマス、併シナガラ之モ無イトハ限リマセヌカラ、ヤハリ極メテ置カケレバナラマセヌ
ガ、是ハ殆ド無イトデス、ソレカラ一ツハ、一方ノ監視ノ方ニ大變責任ガアルノデ、兇
徒嘯集罪見タヤウナモノデアッデ、必シモ犯罪人ノ方ニバカリ、惡意ヲ以テ見ルコトハ出
來マセヌ、此場合ニハ監視者ニ責任ヲ有タシテアル、ソレデ此監視者ノ責任ト、惡ルイ
事ヲスル責任ト比較シテ見ナイト、イカヌ問題デアリマスカラ、此場合ニハ餘程輕ク罰
スル必要ガアリマス、又絕對ニ殆ント無イト云フデモ宜イ位ナ問題デアリマス、此場合ニ
於テ、監視者ノ下ニ牽束ヲ受ケタ人間ガ、其人ニ對シテ反抗スルト云フ、稀有ナ憫レナ情
態ニ居ル場合デモ、死刑ヲ持ッテ行クト云フコトハ、殆ト滑稽デアリマス、第二條ノ場合
ハ、甚シキハ死刑流刑ヲモ用ナケレバナラヌ必要ガアリマス、是ハ監視ノ下ニ在ッテモ、
大勢寄ルト兇徒嘯集罪見タヤウニナッテ來ルノデ、是ハ第一條ヲ以テヤルト云フコトハ、
餘程迂遠ナ論デアラウト思ヒマス

○磯部四郎君 私ハ元田サンニ御尋ネ致シマスガ、緊急勅令一時ノタメニ立ッテ居ル法律ナラ、ソレヲモ吞込メナイコトハアリマセヌケレドモ、既ニ法律トスル時分ニハ、花井君ノ云フヤウナコトモゴザイマセウガ、反抗暴行ナドト云フノハ、ドノ位ノコロヲ見タノデスカ、唯漠トシテ、ドウ云フ趣意アルカ、具躰ノニ云フト、其暴行ノ結果、人ヲ傷ケルコトモアリマセウシ、場合ニ依ッテハ護送者ヲ殺ス場合モアリマセウシ、スレバサウ云フ事實カラ割出シテ見マス、重禁錮ハ安ス過ギルカラ、或ハ花井君ノ説ニ賛成シナケレバナラヌカモ知レマセヌ、ソレカラ又此案ヲ見マス、護送者ニ對シテ反抗暴行ノ所爲ト云フモノ、重イモノハ、重禁錮ニ處スルアリマスカ、所爲ノ重イモノ云々ト云フコトニナリマス、刑ノ重イ方ガ、法律トシテ玆デ議シマス以上ニハ、提出者ハドウ云フ御考デアリマセウカ、唯勅令ニ斯ウ書イテアルカラ、此通ニシテ置クト云フノナラ、全躰花井君ノ御議論モゴザイマシタガ、私ハ花井君ノ御議論ト大躰ニ於テ、サウ何モ立法院デアルカラ、ドコマデモ勅令ヲ認知シテハ宜クナイト云フコトモナイカラ、其儘ニシテ置イテ宜イノデアル、苟モ立法院ガ勅令ヲ否認シテ、更ニ法律ヲ立デルナラバ、勅令其者ヲソグリ持ッテ來ル、少シ法律ヲシイ法律ヲ拵ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス、反抗若クハ暴行ノ所爲ト云フコトハ、ドウ云フコトヲ標準トシテ云フノデアリマスカ

○元田肇君 先ヅ第一ニ苟モ立法院トシテ、法律ヲ拵ヘルナラバト云フコトノ理由カラ申上ゲマス、如何ニモ御説ノ通デゴザイマス故ニ、本案ヲ提出シテ、賢明ナル磯部君ノ御修正等ヲ仰ギタイト云フ考デ、提出致シタルノデゴザイマス、不幸ニモ磯部君ハ此案ヲ提出セル時分ニ、吾々同士トシテカラニ、之ヲ議シタ時分ニ御缺席デアリマシタ、而シテ是ハ先ヅ護送者ニ對シテ反抗若クハ暴行ノ所爲アルト云フコトハ、大躰極端ノトコロト云フモノハ、眼中ニ見ヌノデアリマシタ、ソレデ重イ者ハ重禁錮ヲ適當トシテ、輕イモノニ至リマシテハ、花井君ノ案ノ如クニシマスレバ、重禁錮ガ一番下デ、ドンナ事情ニ居ルモノデモ、反抗トカ暴行シタト云フコトガアレバ、重禁錮マデ行クト云フノデアリマスガ、私等ハソレ以下ノモノデ、十分制裁ガ附クト思ッタ、若シ其上ニ打殺シタリ何カシタコトデ、重禁錮デ行カレヌト云フコトデアルナラバ、其修正案ガ出ルナラバ、隨分考モゴザイマセウガ、併ナガラ花井君ノ今云ハレル通ノコトニナルト、一方ノ極端ニヒドイトコロハ相違ガアルカ知レマセヌガ、此重禁錮ノ唯反抗シタバカリデ重禁錮ガ一番輕イ罪デ、多數ノ者ガヤツタ時分ニ、ソレガドウモ一番輕イトコロガ、重禁錮トスウ云フコトハ、護送シタ者ニ腕力何カ振上ゲタ位ノモノデモ、重禁錮ト云フコトハ、ヤハリ權衡ヲ得ヌ、ソレカラ極ク重イ行動ノアツタ場合ノ權衡ヲ得ヌト云フコトナレバ、提案者ハ是デ宜イト見タノデアアルガ、御修正案ヲ提出シテ下サレバ……

○委員長鳩山和夫君 諸君ニ御諮リシタイガ、大藏省ノ政府委員が見エタガ、此俘虜ニ關スル法律ヲ議シタ後ニ、若シ諸君ガ尙御勉強ナスデ、貨幣ノ方モヤルト云フ御考ナラバ、止ッテ戴クシ、モウ二時ニナルカラシテ、若シヤル隙ガナケレバ……

(今日ハ俘虜ダケデ「ト呼フ者アリ」)

○委員長鳩山和夫君 ソレデハ水町君今日ハ貨幣マデ行カヌデセウ、多分明日ノ朝開カウト思ヒマス

○元田肇君 此際ニ承ルノハ、幸ヒニドンナコトカ起リ得ルカト云フコトモ、御參考ニ

御聞キニナルナラバ、御聞キニナッテハドウデ……

○花井卓藏君 私ハ今磯部君ノ元田君ニ問ハレタ點ニ、私ノ修正案トシテ御答シヤウ、私ノ云フノハ、磯部君ガ最モ甚シキ場合ヲ想像シテノ例ヲ申サレマシタガ、反抗暴行ト云フノニハ、兵器ヲ取ル、傷ヲ附ケルト云フヤウナ激甚ノ度、殊更ラニ官が見テ以テ、直チニ罪ニ處スベキモノニ該當スベキ筋ノモノダト云フ部分ヲ豫想シテ、私ハ其情重キモノハ罪ニ處ス、斯ウ云フコトニシタノデ、ソレハ此立川君ニ御答デハナイガ、立川君ノ議論ニ付イテ云ッテ置キタイガ、ドウモ罪ニ處スルト云フヤウナ事柄ノ問題ニ關シテ、情狀ノ重イカ輕イカト云フコトヲ、裁判官ニ委ネルノハ、甚ダドウモ怪シカラヌト云フコトヲ云ハレルノデアリマスガ、之ハ珍シクナイ話デ、其情輕キモノトカ重キモノトカ云フコトハ、總テ裁判官ニ判斷サセルヨリ定メヤウハナイ、ソレカラ大躰ニ磯部君ノ何ハ陸軍ノ刑法ノ六十六條カラ六十八條マデニ、抗命ノ限度ガ定メラレテ居ル、陸軍ノ當局ハ、無論陸軍刑法ニ御採用ニナッタト思ヒマス、ソレニ依ッテ抗命トハ何ザヤ、暴行トハ何ザヤト云フト、輕イモノハ重禁錮、重イモノハ死刑ニセヌケレバ行ケヌト云フコトニナル

○森田卓爾君 唯今ノ磯部君ノ案ニ御答シマス——答ヘルト云フノハヤハリ議論デ、磯部君ノ賢明ナニモ似合ハヌ、反抗暴行ト云フコトノ法律上ノ一定ノ意義ヲ私ハ御存ジノナイノニ驚イタ、反抗暴行ト云フモノハ、普通刑法ノ毆打創傷ノ處ニモ、兇徒嘯集ノ處ニモ、何處ニモ用井アルコトデ、決シテ殺傷ヲ意味シナイ、此場合ニハ殺傷ヲ意味スルカ知ラヌガ、人ヲ殺ストカ何トカ云フトキニハ、刑法デ明カニ熟語ガアル、反抗暴行ト云フモノ、一定ノ意義ガアル、決シテ人ヲ殊更ニ殺傷スルト云フヤウナコトヲ、暴行ト云フタデハナイカラ、玆ニ反抗暴行ト云フコトハ、普通刑法ノ所謂刑法上ノ一ツノ學理上ノ語デアル、講釋スレバ失禮デアルガ、罪ニ處スルダケノ……

○關直彦君 チョット政府委員ニ、參考ニ伺ッテ置キタイノデスガ、餘リ數多ニナッテ、外國ノ法律ト平均ヲ失ッテモ困リマスガ、殊ニ敵國ノ斯ウ云フヤウナ規則ハ、ドウナッテ居リマスカ、參考書ヲ有ッテ居リマスレバ、ドウ云フコトニ……略、此緊急勅令若クハ此案ト相違ハアリマセヌカ、大躰伺ヘバ宜イノデ

○政府委員平沼騏一郎君 之ハ各國ノ軍律ニ依ッテ、イロ／＼違ッテ居リマスガ、伊太利ノ軍律アタリデアリマス

○關直彦君 露西亞ハ……

○政府委員平沼騏一郎君 其方ハチョット唯今調ベテ居リマセヌ、外ノデハ如何デ……

○關直彦君 ソレデハ宜シウゴザイマス

○小林仲次君 此案ノマア骨子ヲ申スト、輕重ノ御議論ガ本ノヤウニ思ヒマスケレドモガ、外國ノ例モ參酌シテ、御拵ヘニナッタト云フナレバ、モウ大概此所等デ採決ヲナスッデ……

○委員長鳩山和夫君 採決シヤウト思ヒマス

○森肇君 私ハ修正説ガアリマス、之ハヤハリ元田君ト花井君ノ案ヲ折衷シヤウト思フ、デ「其情輕キモノハ六月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス其情重キモノハ死刑ニ處ス」ト

云フコトヲ、ヤハリ入レタイ、ツレハドウ云フノデアアルカト云ヘバ、ツレハ五條ガアリマスケレドモ、又ハ國際法ノ上ニ於テ、諸君ガ御心配ニナルノハ尤デ、第一條ハ單獨ノ反抗暴行ノ行爲ヲ罰スルトコロノデアアリマシテ、其暴行及反抗ノ程度ニ於テハ、磯部君カラ唯今御尋ネニナデ、程度如何ニ於テハ、狀情ノ最モ重クシテ、重禁錮ノミデハ其權衡ヲ得ヌ場合ガアルノデアリマス、ツレデ各國ノ例ニ於テモ、成程死刑以下ニ處スル方ガ多イカモ知レマセヌケレドモ、之ヲ此場合ニ於テ之ヲ死刑ニ處スルト云フコトガ、決シテ妨ゲアルコトデナクシテ、又國際法ノ上ニ於テ、少シモ差支ナイトコロデアリマス、故ニ私ハヤハリ此暴行ノ程度如何ニ於テハ、ヤハリ死刑ニ處スルト云フコトモ、必要デアラウト思ヒマスカラ、其情輕キモノト云フコトヲ置ク以上ハ、其情重キモノハト云フコトヲ、茲ヘ認メテ差支ナイ、言ヒ直シテ見レバ、其中央ニアルトコロノ重禁獄ガ、土臺ニナデ居ルノデアリマスカラ、故ニ此修正説ヲ出シマス

○渡邊修君 今ノ説ニ賛成シテ、意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、此第一條ノ條文ハ丁度此刑法ノ例ヲ引キマスルト、官吏ノ義務ヲ妨害スルノ罪ト云フノニ、一番能ク似テ居ルヤウニ思フ、之ニ依ッテ見ルト、ヤハリ口ノ先キテ反抗ヲシタモノト、ソレカラシテ暴行脅迫ヲ以テ抗拒シタモノ、ソレカラモウ一ツ、毆打創傷ヲヤッタモノト、イロ／＼別々ニ處分ヲスルヤウニナデ居ルヤウデアリマス、丁度反抗暴行ト云フ一ツノ文字ガ加ヘテゴザイマスガ、反抗ト云フ方ガ此情輕キモノ、暴行ノ結果嚙付イタリ擲タリスルモノガ、其情重キモノニナルト思フ、依ッテ總テ包含スルタメニ、輕キ者ハ輕禁錮ニ處シ、重キ者ハ死刑ニ處スル、此輕キ者重キ者ト云フ一ツノ文字ガアル以上ハ、重禁錮ニ處スルト云フコトヲ規定シテ置クコトハ、總テノ場合ヲ網羅シテ、餘程適當ノ處分ニナラウト信ズルノデアリマス、立川ト云フ人ガ裁判官ニ任セルノハ不安心ト言ヒマシタガ、裁判官ガアル以上ハ、之ニ任セルヨリ途ガアリマセヌカラ、別段不安心スル必要ハナイト思フ、詰リ殺ス奴ハ殺シ、活カス奴ハ活カスト云フコトニシタ方ガ宜イト思フ

○委員長鳩山和夫君 花井君ノ説ニハ賛成ガアリマセヌカラ、採決ハ致シマセヌ、森君ノ説ニハ賛成ガアリマセヌカラ、採決致シマス——其情重キ者ハ死刑ニ處スト云フ之ニ同意ノ諸君ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ

舉手者 少數

○委員長鳩山和夫君 少數デス、原案ニ決シマス——第二條ヲ議題ニ供シマス

○磯部四郎君 勅令ニモ多衆ト云フ字ガアリマス、花井君ノニモ多衆ト云フ字ガアルハバノ位ノ數カラ、多數ト云フコトニナリマスカ

○花井卓藏君 私人書イタ多衆ト云フノハ、ヤハリ磯部君ガ解釋セラル、通ノ多衆デス

○委員長鳩山和夫君 採決致シマス、第二條ハ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼ブ者多シ)

○委員長鳩山和夫君 然ラバ原案ニ決シマス——第三條ヲ議題ニ供シマス

○花井卓藏君 私ハ此問題ガ、大變鳩山君ト元田君トノ爭ヒノ點ニ屬スルトコロデアゴザイマスカラ、第三條ノ討議ニ進ム前ニ、別ニ二條トシテ、唯今ヨリ讀ミマスルトコロノ條文ヲ入レタイノデス「第三條 俘虜逃走ノ處爲アルトキハ六月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス 俘虜逃走セサル宣誓ヲ爲シ尙逃走ヲ企テタルモノハ一等若クハ二等ヲ加フ」之ヲ茲

ニ書キマシタ所以ハ、俘虜ガ一人若クハ二人、若クハ三人位ナモノガ、逃走ヲ企テマシタ場合ヲ、制裁スベキ必要ガアラウト云フ點カラ、此條文ヲ入レル必要ヲ感ジタ、是ハイロ／＼ノ論ガアルノデ、俘虜ガ逃走ヲ企テタルト云フコトハ、必シモ罪人ガ逃走ヲ企テタルト同ジニ見ル譯ニハ往カヌ、ツレガ本國ニ歸リ得レバ、罪トモ何トモ云フベキ筋ノモノデモナク、再ビ捕ハレタカラト云フデ、再ビ罰スルコトモ出來ナイ性質デアラカラシテ、單身ノ逃走ダケハ罪トセヌガ宜カラウ、斯ウ云フ論ガアルケレドモ、單身ノ逃走ニ關シテハ、何等ノ制裁ヲ設ケヌト云フ考ガアルカト云ヘバ、サウデナイ、ツレハヤハリ此懲罰規定ニ依ッテ、相當ノ懲罰ヲ加ヘル事ニナデ居ル、例ヘバ千八百九十九年ノ海牙條約ノ第八條デゴザイマシタカ、總テ不柔順ノ行爲アル時ハ、俘虜ニ對シテ必要ナル嚴重手段ヲ施スコトヲ得ト云フ規定ガアル、此文字ノ内ニ無論單身逃走ト云フコトガ、暗ニ含マレテ居ルハ、疑ナキ點デアアル、ソコデ此單身逃走ノ場合ニ、嚴重ノ手段ト云フノハ、ドウ云フコトヲ施スカト云ヘバ、隨分酷イ點デアラマレテ居ルヤウデアアル、逃走スル俘虜ニ對シテ敢行シタ後ニ、ツレデモ止ラナカダ折ニハ、ヤハリ兵器ヲ用井テ宜シイ、射撃ヲシテ宜シイ、射撃ノタメニ死ニ至ッテモ、差支ナイト云フ慣例ガ、海牙條約以前ニ於テ存在シテ居タ、所ガヤハリ是ハ軍事ノ必要處分、所謂懲罰規定ノ一ニ見ラレテ居タ、普通ニ刑罰ト懲罰トノ區別ヲ云ヘバ、一般ノ場合ニハ大變テ差ガアリマスケレドモ、軍事處罰ノ時分ニナタラ、サウマデヤレル、輕イノハドウスルカト云ヘバ、幽閉ヲスル、幽閉スルト云フコトハ、言葉ハ幽閉デアリマスケレドモ、實ハ禁錮ト同ジデアリマス、私ハ之ヲ刑罰ニスレバ、宜クナイ、懲罰デハ宜クナイト云フ考ハ起サヌ、文字ノ懲ト刑ダケ違フデアデ、事實ノ上ニ於テハ同ジコトデアラウト考ヘル、ツレデアリマスカラシテ、俘虜ノ逃走ト云フ事柄ガ、俘虜取締ノ法律トシタラバ、明白ニ單身逃走ノ場合デモ、刑罰ノ上ニ於テ、輕ク罰スルコトニシテ置イタ方が、宜カラウト云フ考ヨリ致シマシテ、此三條ノ第一項トシテ「俘虜逃走ノ所爲アルトキハ六月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス」斯ウ云フコトヲ加ヘタイ、ツレカラ逃走セサル宣誓ヲナシテ、尙斯ノ如キノ罪科ヲ犯スモノガゴザイマシタ折ニハ、無論俘虜ニ關シテ宣誓破壞ト云フ事柄ハ、最モ誠ニベキ點デアリマスカラ、其様ナ場合ニ於テハ、前ノ一項ノ期ニ一等若クハ二等ヲ加ヘテ處罰スル、斯ウ云フ風ニシテ置キタイ考デアリマス、ドウカ御贊成ヲ願ヒマス

○磯部四郎君 唯今花井君ノ御説デアリマスガ、私ハヤハリ原案ノ儘ガ宜カラウト云フ考デゴザイマス、ツレハドウ云フ譯デアアルカト云ヘバ、第三條ノ如キハ、詰リ花井君モ申シマシタ通、共謀ト云フ文字ニ依ッテ、此處罰ガ出テ來ルノデアラウト考ヘル、俘虜ハ其意ナイニモ拘ハラズ、無理ニ引張テ來ルノデアリマスカラ、好シク我土地ニ來ルモノデハナシ、即チ逃グルト云フコトハ、先ノ權利デアルト私ハ見ルノデス、若シ是ガ反抗暴行ト云フヤウナコトガアルトカ何トカスルナラ宜イガ、無理ニ連レテ來テ居ルモノガ逃グルト云フコトハ、取締方法ヲ始末ヲ付ケナケレバナラヌ、無理ニ自分ノ土地ヘ連レテ來テ置イテ、ツレガ其土地ヲ離レヤウトスルモノヲ、直グ罰スルト云フ事柄ハ、ドウモ規則カラ出テ來ヌ、ツレデ唯今花井君カラ云ハレマシタ如ク、ソナナ花井君ノ云ハレタ條文ヲ入レタイニシタトコロガ、ヤハリ不十分ノモノニ付イテ、相當ノ取締ヲ置カナケレバナラヌシ、又逃グル奴ハ擊殺スマデ往クカモ知レマセヌカラ、ツレハ取締法ヲ來ルノデアリマス、苟クモ處罰スルト云

フコトニナルト、何か一種ノ惡意ナル心ヲ以テ、歸ル心ノナイモノヲ、ソレヲ説イテ共ニ逃
グルトカ、何トカ一ツノ働キガナクテハ、罰スル權利が出テ來マイト思ヒマスカラ、ヤハリ別
段條文ヲ置カル、コトハ、必要ノナイコトデアラウト思フ、此點ニ於テモ二條ト云フモノ
ハ、先ヅ是テ宜カラウト私ハ考ヘマス別段入レル必要ハナカラウト思ヒマス、ソレカラ
段々考ヘテ見マスルト、詰リ勅令通ニ行ハル、コトナラバ、強チ斯ウ云フ案ヲ以テ、殊更
同シ勅令ヲ廢スルコトヨリモ、モウ少シ度量ヲ廣クシテ、承諾デモシタラドウカト思ヒマス
○森田卓爾君 私人原案賛成デゴザイマスガ、此時ニ原案賛成ト同時ニ、大牀ノコト
ヲ申上ゲテ置キタイ、全牀俘虜ヲ處罰スルコトハ、實ハ取締ヲ出來ナイ、刑罰デナケレバ
出來ナイカラ、已ムヲ得ヌ部分デケテ、唯五ツハ決定メテ、引張テ行テ、監獄ヘ入レ
テ、其筋ノ人が取締ノ付ク所ナラバ、實ハ刑法ハ入ラヌデス、畢竟ドウシテモ行政處分
デ、取締ガ付カヌカラ、刑罰ヲ設ケルコトデアリマスカラ、今ノ花井君ノ三條ヲ一ツ入レル
御論ニ、磯部君ノ云ハレタ通、此法律ヲ以テ取締ノ必要ハナイ、ソナ弱イコトデハ、俘
虜ノ取締ガ出來ヌ、行政上ノコトデアリマスモ行カヌコトヲ入レタデアリマスカラ、ソレハ
三條ノミナラズ、考ヲ違ヘテ議シテ戴クト往カナイガ、サウ云フヤウナモノヲ取締ノ必要ヲ
以テ、三條ヲ入レルコトハ往カヌ、ヤハリ原案ノ三條ガアレバ、是デ十分思ヒマス

○委員長鳩山和夫君 採決致シマスガ、花井君ノ案ニ賛成ガアリマスカ

(「アリマセヌ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 ソレデハ花井君ノ案ニ付イデハ、贊成者ヲ認メマセヌカラ採決
致シマス、第三條、原案ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 ソレデハ原案ニ決定致シマス、第四條ヲ議題ニ致シマス

○花井卓爾君 私人四條ノ中ニ「兵器ヲ操リ」ト云フ文字ヲ削リタイノデス、兵器ヲ操
リト云フテ、抗敵ノ性質ヲ事實ノ上ニ明カニシテ置クト云フ事柄ハ、困ル場合ガ出來テ
來ララウト私ハ考ヘル、必シモ兵器ヲ操ライデモ、抗敵ハ出來ルシ、ソレカラ又兵器ヲ操
タカラ、必ズシモ抗敵ガ出來ルト極デ居ル筋ノモノデハ、私ハナカラウト思フ、如何様ナル
方法デモ、抗敵ヲシタラバ、總テ處刑ニ處スルト云フ廣イ意味ニ見タラ、私ハ宜カラウト思
ヒマス

○渡邊修君 兵器ト云フ兵ノ字ヲ、兇ノ字ニ直シタラ宜カラウト思ヒマス、兇器ヲ操ル
ト……

○委員長鳩山和夫君 花井君ノ修正説ニ賛成ガアリマスカ——アリマセヌ、ソレカラ
渡邊君ノ兵器ヲ兇器ト直スト云フコトニモ、贊成ノ聲ヲ聽キマセヌ、第四條ハ原案ニ付
イテ採決致シマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 原案ニ決定致シマス、第五條ヲ議題ニ致シマス

○森田卓爾君 質問ガゴザイマス、是ハ私ハ元田君ニ質問セヌノデゴザイマス、前ノ勅
令ト同ジコトデアリマスカラ、政府ノ方ニ質問シタ方が私ノ意ヲ得ララウト思ヒマス「俘
虜逃走セザル宣誓ヲ爲シ之ニ背ク者ハ重禁獄ニ處ス」ト、是ハドウ云フコトカラ、アenna
宣誓ヲシテ、之ニ背クモノヲ五條ニ至ッテ重罪ニスルハ、ドウ云フ考デスカ

○政府委員平沼騏一郎君 此第五條ノ宣誓ニ背キマシタモノヲ、重禁獄ニ處スルト
申シマスノハ、詰リ此宣誓ニ背イタト云フ點ヲ重ク見マシタノデス

○森田卓爾君 逃走セザル宣誓ヲシテ、背クト云フト、宣誓シタルモノガ、逃走シタト云
フノデスカ

○政府委員平沼騏一郎君 左様デス

○森田卓爾君 ソレヲ重禁獄ニ處スルト云フト、刑ノ宣告ハマルデ取レヌコトニナリハシ
マセヌカ

○政府委員平沼騏一郎君 詰リ此宣誓ト云フコトヲ唯申シマシタ通、餘程重ク見マ
シタノデ、單獨逃走ナラ罰シナイコトニシテ居リマス、併シ此處ハ誓ヲシテ居リナガラ、誓
ヲ背クト云フデアリマスカラ、餘程重イコト、考ヘマシタ

○森田卓爾君 此第一條ノ刑ト云フノハ、反抗暴行デ重禁獄、ソレカラ第二條ガ俘
虜共謀シテ多衆、前條ノ所爲デ首魁デケガ死刑、其他ハ重禁獄、三條四條ハ申上ゲ
ヌデモ宜イガ、五條ニ至ッテ私ハ逃ゲナイト云フコトヲ誓ヒラシメ、ソレガ逃ゲタト云フノハ、
一條カラ四條マデノ間、一番輕イノデアリナガラ、ソレヲ同ジコトニ罰シテ居ル、何か西洋
カブレノ耶穌教ノ宣誓ヲ大切ニスルカラ、ソレデ罰スルノデアアルマイカト思フ、御尋ス
ル、若シソレナラ大變間違デアリマス、斯ウ云フ逃ゲマセヌト云フテ逃ゲタ奴ニ向ッテ、一
條カラ四條マデノ同ジ刑ニ處スルト云フコトハ、何カ理由ガアリサウデスカ、モウ少シ説明
ガナイト、贊否ヲ決シ兼ネル

○花井卓爾君 此元田案賛成ノ理由ヲ述ベタイト思ヒマス、自然答ニナルダラウ
ト思ヒマス

○森田卓爾君 政府委員ハ御答ナイデスカ

○委員長鳩山和夫君 御答ニナリマスカ、森田君ノ質問ニ

○元田肇君 最初ノ腕力ヲ以テツカマヘラレタデアルガ、次ノハ宣誓ヲシタ後デアリ
マス、ソレニ背イタモノデアルカラ、罪ハ重イト思ヒマス

○森肇君 「其他ノ宣誓」ト云フコトガアリマスガ、ドウ云フ場合ヲ云フノデスカ

○政府委員平沼騏一郎君 イロ／＼ゴザイマセウガ、一番多イノハ、制限的ニ自由ヲ
與ヘル場合等ヲ云フデアリマス

○森田卓爾君 修正ガアリマス、五條ハ斯様ニ修正シタイ「俘虜宣誓ヲ爲シ之ニ背キ
テ逃走シタル者其ノ他宣誓ニ背キタル者ハ輕禁獄ニ處ス」ト、修正シタイノデアリマス

○花井卓爾君 此ハ此案ニ付イデハ元田説ヲ贊成致シマスガ、森田君ノ論ハ逃走ト
云フコトノミヲ、見テ居ラレルノデアアルマイカ、五條ノ制裁ハ逃走ノミノ規定デナクシテ、
宣誓破壞ノ罪デアリマスカラ、一條二條トノ權衡ヲ取ル必要ハナイ、元田君ノ所謂金打
ヲシテ置キナガラ、其誓ニ背クモノデアリマスカラ、刑ノ權衡ヲ取ル必要ハナイ、又刑ノ權
衡モ取調ベマシタガ、五條ニアル通何レノ國ニ於キマシテモ、サウナッテ居ルヤウニ記憶シテ
居リマス、又宣誓破壞ノ場合デモ、刑罰以外ノ處分トシテ殺シテモ宜イイトナッテ居リマ
スカラ、之ヲ以テ重キニ失シテ居ルトハ云ヘナイト思ヒマス、故ニ私ハ原案ニ賛成致マス、
ソレカラ「其ノ他ノ宣誓」ト云フコトハ、漠然トシテ居ルト云フ掛念モアルヤウデスカ、俘虜ニ
對スル宣誓ハ多イデスカ、解放ノ宣誓、逃走セザルノ宣誓等ガアリマス、解放ノ宣誓ハ、

日清戰役ノ場合ニ確ニ二ツ四ツ實例ガアッタヤウニ記憶シテ居リマス、又今度ノ「ステッセル」ノ如キモ、解放宣誓アリマス、其他ノ宣誓ハ罪トシテモ罰スベキ程ノ重イモノデナイ、故ニ多イカラ感ヲ生ズルト云フ誤解ハ出ナイと思ヒマス

○磯部四郎君 本條ダケハ單ニ輕禁錮トナッテ、二月以上五年以下ト云フコトハアリマセヌガ、ドウ云フ譯デスカ

○元田肇君 御異議ガアルナラバ、修正案ヲ御出シニナッテハ如何デスカ

○磯部四郎君 出サナイコトモアリマセヌガ、何カ御趣意ガアルカト思ヒマシタカラ……

○花井卓藏君 私が代ジテ御答致シマスガ、ソレハヤハリ二月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處スルト云フ趣意デスカ、ソレハ書カヌ方ガ宜シイ、其通ニナルノデスカ……

○委員長鳩山和夫君 本條ニ修正ガ一ツアリマシタガ、賛成ガアリマセヌカラ、採決致シマセヌ、原案ニ付イテ決ヲ採リマスガ、原案ニ御異議ハアリマセヌカ——ナケレバ原案通過決定致シマス——次ニ六條ヲ議題ニ致シマス

○森田卓爾君 削除説ヲ提出致シマス

○花井卓藏君 私モ削除シタイと思フ、是ハ明カニ極ッテ居ルコトデアリマスカラ……

○政府委員平沼騏一郎君 政府ハ本條ヲ置ク方ガ至當ト考ヘマス、是ハ內國法デアリマスカラ、國際法上若クハ國際慣例ニ基ク規定ハ、ヤハリ設ケテ置ク方ガ至當ト思ヒマス

○花井卓藏君 國際法上ノ典例デ、分カラヌモノハ法文ニ載セナケレバナリマセヌガ、六條ダケハ國際法上ノ典例ニアリマスカラ、之ハ廢シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○委員長鳩山和夫君 採決致シマス、本條削除説ニ賛成ノ方ハ、手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 少數

○委員長鳩山和夫君 少數、原案ニ決シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ——御異議ガナケレバ原案確定ト認メマス、次ハ七條ヲ議題ニ供シマス

○花井卓藏君 私ハ七條ト、既ニ御決定ニナッテ居ル六條トノ間ニ、新タニ第七條トシテ、斯ウ云フコトヲ入レタイ「俘虜本法陸軍刑法海軍刑法ニ規定シタル以外ノ法令ヲ犯シタルトキハ各法令ニ從フ但一等又ハ二等ヲ加フルコトヲ得」ト云フコトヲ入レタイ、其理由ハ俘虜刑罰法並ニ陸軍刑法海軍刑法ニ、規定シテナイ、普通ノ刑法デアルトカ、其他ノ刑法ヲ犯シタルトキニ、處罰スル規定ガナイ、例ヘバ俘虜ガ毆打ヲスルトカ、竊盜ヲシタヤウナ場合ノ規定ハ、ドノ法律ニモアリマセヌカラ、斯ノ如キ場合ニ於テハ、其事實ニ適合スベキ法令ノ規定ニ從フト云フコトヲ、規定スル必要ガアルと思フ、是モ斯ウ云フ風ニ規定シタ軍律モ、外國ニアルヤウニ記憶シテ居リマス

○磯部四郎君 花井君ニ賛成致シマス、其賛成ノ理由ヲ加ヘテ置キマスガ、普通刑法ニ反對スル所ノ行爲ノアツタ時ハ、ヤハリ日本ニ居ル中ハ、罰スルコトガ出來ルト云フ考ガチヨット出マスガ、俘虜ハ好シデ日本ノ地ニ來テ居ルモノデナイノデ、是ハ好シデ日本ノ地ニ來テ居ル者ニシカ、適用ガ出來ヌト思フデアリマス、無理ニ伴レテ來テ置イテ、其方ハ此刑ニ處スルト云フハ如何デアラウ、故ニ花井君ノ別ニ一條ヲ入レルト云フニ、賛成ヲ致シマス

○元田肇君 自分ハ之ヲ入レズトモ、明カデアルト思ッテ、入レナカッタノデアリマス、又

一等又ハ二等ヲ加ヘルコトハ、如何デアラウガ、磯部君ハ俘虜ハ好シデ來タモノデナイト云フ、ソレニ普通ノ人民ノ犯シタルモノ、上ニ、尙一等二等ヲ加ヘルト云フノハ、如何デアラウト思フ

○花井卓藏君 尙明ニシテ置キタイと思ヒマスガ、原則カラ行ケバ、俘虜ハ軍人トシテ處罰スルノデスカラ、陸軍治罪法、海軍治罪法ノ俘虜軍法會議ニ於テ審判スル、即チ軍事犯トシテ支配スルコトニナッテ居ル、ソレデアリマスカラ、陸軍刑法、海軍刑法ニ背イタ時ハ、軍法會議デ軍律ニ照サレテ、俘虜ハ處分ヲ受ケル、此法律ニ背イタ時ハ、ヤハリ軍法會議ニ行デ處分ヲ受ケルモ差支ナイ、所ガ俘虜ハ日本ニ參ッテ居リマスガ、外國人ニ相違ナイノデアリマスカラ、外國人ヲ本法ニ於テ規定スルト云フ普通ノ理窟カラ行ケバ、元田君ノ論モ一應デアリマスガ、軍人トシテ日本ニ來テ居ルノデアル、恰モ日本ノ軍人ニ對スル軍事裁判所ノ裁判、軍事ニ關スル刑法ト同シ事ニナラナケレバナルマイ、日本ノ中デモヤハリ軍人ノ普通刑法ニ背イタ時ニ罰スル規定ハ、現ニ普通刑法ニ從フコトニナッテ居リマスカラ、此條文ヲ加ヘテ置クコトガ、適當デアラウト考ヘマス、磯部君ノ大舛ニ付イテノ御賛成ノ意見ノ通ノ趣意デアリマスガ、但書ヲ削除スルト否トハ別論デスカ、但書ヲ加ヘルハ軍人ノ面目トシテ、而モ武士道ヲ以テ待遇セラレテ居ル俘虜デアリナガラ、普通刑法ノ竊盜詐欺ヲシタト云フノハ、多少重クスル必要ガアルデアラウト考ヘル、是ハ無理ニ重クスルト云フノデナイ、裁判官ノ手加減デ、一等二等ヲ加ヘルコトヲ得ト云フノデアリマスカラ必ズ加ヘルト云フ趣意デハナイ

○森田卓爾君 私ハヤハリ原案ニ通過デ、外ノ箇條ヲ加ヘヌガ宜カラウト思フ、今花井君ノ仰セラル、コトハ、必要ニ考ヘルガ、俘虜ノ普通犯罪ヲ法律デ罰シナケレバナラヌト云フコトデハ片ガ付カヌ、ソレデアルカラ、一條カラ六條マデニ取締ノ出來ナイ分ダケ並ベテアル、之ヲ竊盜ヲシタ、拘捕ヲシタト云フコトヲ、一々裁判所ニ持ッテ行クヤウナコトデハ、帝國ノ威嚴ガ有テヌ、是ハ入レヌ方ガ宜イ

○政府委員平沼騏一郎君 唯今花井君ノ修正案ガ、議題トナッテ居リマスカラ政府ノ意見ヲ摘シテ申シテ置キマス、是ハ緊急勅令ニモアリマセヌ條文デアリマスガ、俘虜ハヤハリ日本ニ參ッテ居リマス以上ハ、普通ノ外國人デアリマシテ、當然日本ノ刑法ニ服從シナケレバナラヌ、ソレヲ特ニ此條文ヲ入レマス、少シ餘計ノ事ヲ規定スル嫌ガアルト云フ懸念ガ有ルノデアリマス、ソレカラ今一ツ、俘虜ハ軍人デアルト云フ御話モアリマスガ、俘虜ノ中ニハ軍人モアリマセウケレドモ、又非軍人モアルノデアリマス、此邊ハチヨット附加ヘテ申シテ置キマス

○花井卓藏君 勿論俘虜ニハ軍人モ非軍人モアリマスガ、此俘虜刑罰法ニ書イデアルノハ、軍人ノ俘虜ノモノコトニ御理會ニナラヌト、御困リノ事ガ澤山出ルト思ヒマス、一條カラ六條マデ、非軍人ニ適用ノ出來ルモノハナイノデアル、軍人の俘虜ノミト見ナケレバナラヌ

○委員長鳩山和夫君 花井君ノ提案ニ賛成ガアリマスカラ採決致シマス、花井君ノ提案ニ御同意ノ諸君ハ、手ヲ舉ゲ下サイ

舉手者 少數

○委員長鳩山和夫君 少數デアリマス

○花井卓藏君 ソレデハ一間ニ入レルト云フ論ガ立チマセヌ以上ハ、原案第七條ノ削除説ヲ出シマス、第七條ニ掲ケラレテアルコトハ、陸海軍治罪法ニ明瞭ニ規定セラレテ居ル、其規定ヲ動カサナケレバナラヌト云フ必要ハ無い、斯ノ如キ事ハ刑法ニ規定スベキモノデナイ、立法部デ法律ヲ作ル以上ハ、其分界ヲ明カニスルガ宜イ、是デケガ陸軍治罪法ニ無イカラ、補フト云フコトナレバ、別ノ形式ニ於テヤルガ宜イ、是ガ無クテモ應用ガ出來ルヤウニ、陸海軍ノ治罪法ガ出來テ居ル、是ハ全ク無用ノ條文デアルト思フ

○森肇君 七條ニ付イテハ、政府委員ノ御意向ヲ伺ヒタイ

○政府委員平沼騏一郎君 第七條ニ付イテ、政府ノ意見ヲ述ベテ置キマスガ、是ハ大體ニ關係ノ有リマスコトデ、此一條カラ六條マデハ、結局緊急勅令ト同様ニ相成リマスノデ、此條文ガ詰リ是ガ法律ニナリマス加ハルコトニナルノデ、緊急勅令ハ最モ必要ナ箇條デケニ、制限シテ行ヘルノデアリマス、詰リ此法律ヲ發布ニナリマス必要ノ起リマスハ、第七條ガ加ハリマスカラト云フコトナリマセウト思ヒマス、ソレデ政府ニ於テハ第七條ノ加ハリマスコトハ異議ハナイノデアリマス、詰リ軍法會議デ俘虜審判ヲ致シマス時ニ、階級ニ應ジテ帝國軍人ニ關スル規定ヲ準用スル、俘虜ハ勿論帝國ノ軍人デハナイノデハゴザイマスカラ、帝國軍人ノ階級ニ依リマシテ、裁判所ノ構成其他裁判所ノ管轄等ガ、變ルノデアリマス、是ハ當然俘虜ニ適用ノ出來ベキコトデハナイト思ヒマス、就キマシテハ俘虜ヲ日本デ裁判致シマス場合ニ於キマシテ、俘虜ノ階級ト云フモノハ、重シデヤルト云フコトガ、最モ適當ノコト、信ズルノデゴザイマスカラ、此第七條ヲ御加ヘニナルト云フコトニ就キマシテハ、政府ハ異議ハアリマセヌ

○森田卓爾君 私ハ是ハ大事ノ箇條ト思ヒマス、此六條マデハ成程規程ノ本骸ハ、普通ノ刑法ト同ジウツテ居ルガ、何人ヲスルカト云ヘバ、外國軍人ト云フモノヲ罰スル箇條デ、裁判スル所ハ現行法デゴザイマセヌ、成程此タメニ別ノ法律ヲ拵ヘテ、此法律ニ依テ犯罪者ガ出來タ時ハ、何處ト云フ單行法ヲ拵ヘデモ宜シイ、宜シイガソナ繁雜ナコトヲスルノヲ避ケテ、簡便ニ之ニ掲ゲテ置クガ宜シイ、是ハ書イテ置カナケレバイカスト思ヒマス

○委員長鳩山和夫君 第七條、削除スルト云フ説ニ同意ノ諸君ハ、手ヲ舉ゲテ下サイ舉手者 七名

○委員長鳩山和夫君 總員十四名デ丁度半數デス、委員長ガ決シマス——削除反對デス——次ニ附則ヲ議題ト致シマス、附則ノ第一項

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長鳩山和夫君 第一項ニ異議ナケレバ、第二項

○花井卓藏君 二項ハ削除 (二項ノ削除ハ賛成ト呼フ者アリ)

○角田眞平君 原案賛成

○委員長鳩山和夫君 二項ニ付イテ採決シマシ、削除ニ付イテ同意ノ御方ハ舉手舉手者 少數

○委員長鳩山和夫君 少數デス、原案ノ通り決シマス、是デ第二讀會ヲ終リマシタ (直チニ三讀會ヲ開カレタイト呼フ者アリ)

○委員長鳩山和夫君 直チニ三讀會ヲ開イテ、二讀會決議ノ通可決確定シタルモノト見テ、宜シウゴザイマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長鳩山和夫君 其通り確定致シマス、貨幣ノ方ハ明後日午前十時ニ開クトニシマス、今日ハ散會

午後三時四十五分散會